

平成27年度後期（第5回）12月実施
キャリア・コンサルティング技能検定

1級 実技（論述）試験

実施日 ◆平成27年12月13日（日）

試験時間 ◆14：30～16：30（120分）

★注意事項★

1. 本試験の出題は、必須問題（共通事例）と選択問題（分野別事例から選択）です。事例を読み、必須・選択問題それぞれ指定された解答用紙の設問ごとに記述してください。選択問題は、解答用紙の選択した分野に必ず○を記入してください。記入漏れがあった場合採点されません。
2. 解答用紙に受検番号を記入し、受検者シールのバーコードシール1枚を指定の位置に必ず貼付してください。記載漏れおよび貼り忘れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受検票、腕時計、筆記具（鉛筆・ペン・消しゴム）以外のもの（定規・メモ用紙・筆記具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受検票は、机の上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は携帯電話、スマートフォンなど全ての通信機器及び電子機器は一切使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。
時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、落丁・乱丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したままお待ちください。

○実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。

○平成28年3月18日（予定）に受検者全員に合否通知書を送付いたします。

合格者は当協議会のホームページに受検番号を掲載してお知らせします。

(<http://www.career-kentei.org/goukaku/>)

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会

〒105-0011 東京都港区芝公園1-6-8 泉芝公園ビル5階 TEL03-5402-5588

☆☆ 解答にあたっての注意事項 ☆☆

1 級実技(論述)試験の問題は、**必須問題**と**選択問題**です。

選択問題は、企業分野、需給調整機関分野、教育機関分野の3分野の事例から1つ選び、選択問題の解答用紙に選択した分野を○で囲んでください。(○がついていない場合、採点されません)。

必須問題、選択問題それぞれ指定された解答用紙の設問ごとに解答を記述してください。

なお、事例は、事例相談者(キャリア・コンサルタント)が相談者に対してキャリア・コンサルティングを行った結果をもとに、事例相談者が事例指導を受けるためにまとめたものです。

事例1【必須問題】

事例相談者：女性(53歳)

相談者：A(女性：32歳)

事例2【選択問題：企業分野】

事例相談者：男性(35歳)

相談者：B(女性：40歳)

事例3【選択問題：需給調整機関分野】

事例相談者：女性(45歳)

相談者：C(男性：52歳)

事例4【選択問題：教育機関分野】

事例相談者：男性(35歳)

相談者：D(男性：21歳)

この事例に登場する人物、団体は、本技能検定用に作成したもので、実在のものとは何ら関係ありません。

解答にあたって、**解答用紙の裏面をメモ書き用として使用することは可能です。**なお、裏面に記載されたものは採点対象にはなりません。

◇試験問題で使用される用語について

事例相談者とは、キャリア・コンサルタントのことを指し、相談者の希望に応じて実施されるキャリアに関する相談とその支援を行う者が、自分が実施したキャリア・コンサルティングに関して相談をする者を指します。

相談者とは、自らの進路相談、職業相談、人事労務に関する相談など、キャリアに関する問題を抱え、キャリア・コンサルタントに相談に来た者であり、事例に登場する者を指します。クライアント、クライアントと同意語として使用しています。

事例 1 : 【必須問題（全員解答）】

次の文章は、事例相談者（キャリア・コンサルタント：女性 53 歳、相談歴 3 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（必須問題）に記述すること。

相談者：A（女性：32 歳） 現在は有期雇用の契約社員として梱包製品製造会社に勤務
家族：母（60 歳）と離れて一人暮らし

【来談経緯】

Aさんは、契約社員として梱包製品を製造している会社で、給与計算に関する仕事を担当している。最近、自分の給与が社員の仕事量などと比べるとあまりにも低いことがわかり、この会社で真面目に働くのがバカらしくなって辞めたい、もっと違う仕事をしたいと思い、母親の知人の紹介で相談に来た。

【面接経過】（ ）内はキャリア・コンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

Aさんは、大学卒業後これまで契約社員として2社で働き、今の会社は3社目で、入社して3年が経つ。最近、仕事の担当が変わり、社員の給与に関するデータが見られるようになった。それを見たら正社員であまり働いていないような人と比べて自分の給与があまりにも低いことがわかって、ショックを受けた。この会社で後2年働くことができるが、それ以来、仕事をやる気がなくなってしまった。自分でもこれからどうしたらいいかわからず、相談したいとのことだった。

（今の仕事に就くようになった経緯はどのようなことからですか。）

「最初は給与とか旅費などに関する補佐的な事務作業をやっていました。今年の春にそれまで担当していた女性社員が産休と育休をとることになったので、自分がその仕事を引継ぐことになりました。その後上司も異動になって、社員の給与計算に関する仕事を担うようになりました。全社員の給与データを見ることとなり、見たことで気になってしょうがなくなりました。社員さんでも真面目な人もいますが、そうでない人も結構いるんですよ。そのような人が自分の倍以上の給料を貰っていると思うと、腹が立つし、一生懸命働いているのがバカバカしくなって、直ぐにでも辞めたくなくなりました。」

（ご両親には会社を辞めることについて、ご相談はされましたか。）

「母にちらっとこの前話したら、『少しぐらい我慢しなさい』って言われて私の気持ちなんて全然わかってくれません。」

（そうでしたか。お母さんに反対されても、ご自分としては辞めたいという気持ちが強いのでしょうか。）

「そうですね…。でも辞めたいと思っても、なかなか踏み切れないんです。実は、付き合っている人がいるんですが、彼は今専門学校に行っていて収入がないんです。もうすぐ結婚する予定なのですが、自分が働かないと生活できないと思うんです。今仕事を辞めてもすぐに別の仕事が見つかるかわかりませんし。」

(そうですか。今の会社で異動できる可能性はあるのでしょうか。)

「実は、少しでも違う仕事に変更してもらえたら、気が紛れるかもしれないと思って、前の上司にメールで先日、相談したんですね。そうしたら、契約社員の異動は難しいと返事が来て、がっかりでした。まあ、いくら嫌な仕事でも断ることはできないし、仕方がないと思ったりもするんですけど。でも、今の仕事はどんなに忙しくても誰も手伝ってくれなくて。こんなに頑張っているのだから、もっと認めてくれてもいいと思うんです。」と自分はいくら苦しくても仕事を引き受けてしまい、一人で抱え込んでやっていることや給料に対する不満が語られた。それに最近、日曜日の夜はなかなか寝付けないことが多くなったということだった。

(自分は仕事を一生懸命やっても、十分な給料が貰えないと思うと腹立たしくなるけど、直ぐに辞めるわけには行かない事情もあるようですね。契約更新まで後2年あるということなので、次の仕事は納得がいくようにゆっくり探すことにして、しばらくは今の仕事を続けるということでどうでしょう。)とAさんの将来について、次回以降、話し合うことをキャリア・コンサルタントから提案した。

Aさんから「もうすぐ年末年始休暇だし、実家に帰ってゆっくり休みたい。話を聴いてもらって少しは楽になった」ことが語られた。

【面接終了後】

紹介者からAさんの面談を依頼された際、Aさんの母親がかなり心配していると聞いていたので、紹介者に連絡し、Aさんが考えていることや今の状況について、母親に伝えてもらうよう依頼した。

【所感】

Aさんは終始笑顔を絶やささないような話し方で、人に不快な感じを与えないように配慮していることが感じられた。このままの気持ちでは継続して働いていくことは無理であろうと思ったが、Aさんの母親はAさんが仕事を続けることを希望しているということや、一時の感情で転職するのはAさんのためにも良くないと思い、業務内容や責任性によって裁量権が異なることなどについて情報提供し、とりあえずは仕事を続けることを提案した。しかし、Aさんからは次回の面談はキャンセルするとの連絡があった。

- 問1** この相談者Aについて、どのような問題があるか、あなたの考えをその根拠を含めて記述せよ。(15点)
- 問2** この事例相談者の相談者Aへの対応について、どのような問題があるか、あなたの考えを記述せよ。(15点)
- 問3** あなたが、この事例相談者の立場なら相談者Aに対してどのように対応するか、あなたの考えを記述せよ。(20点)

事例 2：【選択問題（企業分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリア・コンサルタント：男性 35 歳、相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野は「企業分野」を○で囲むこと（○がついていない場合、採点されません）。

相談者：B（女性：40 歳）大学卒業後、3 年間旅行会社に勤務後、現在の特許事務所に転職
家族：夫（42 歳）

【来談経緯】

Bさんは、特許事務所に事務職として転職して、15 年になる。入職時は、会社規模も小さく、風通しのよい職場だった。最近、職場の居心地が悪くなり、やる気がなくなっている。事務所が契約しているキャリア・コンサルタントに相談に来た。

【面談経過】（ ）内はキャリア・コンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

Bさんが現在の特許事務所に入職した当時は、従業員約 20 名の会社で、所長は温厚なおじいちゃん先生だった。所長は弁理士としても優秀でありながら、職員への気遣いもあり職場はアットホームな感じだった。自身の担当業務は、弁理士の指示に従い特許書類を作成するのが主なものだった。弁理士から直接指導を受けながら、特許に関する専門的な仕事も徐々に覚え、仕事には満足していた。

5 年前に、所長が高齢のため引退し、息子が所長に就任した。新所長になってからは、取引先も増え、専門分野の弁理士も採用された。それに伴い事務職も増え、今では 80 名ほどの事務所になった。1 年前に人事制度の見直しがあり、事務職のチームの所属になったが、最近、職場の居心地が悪くなり、やる気がなくなっている。

（職場の居心地が悪くなり、やる気がなくなっていると感じているのですね。）

「ええ、以前は、弁理士さんとペアで仕事をするアットホームな感じだったのですが、今は事務職だけのチームとして集められました。半年前に新しく採用された課長がいて、私よりは年下の女性なんですけど、さも自信ありげで、作業のやり方についても以前勤めていた特許事務所でやっていた方法を通し通してくるんです。でもそのやり方が今までとはかなり違うんです。」

（新しい課長のやり方に戸惑っておられるのですね。）

「そうなんです。同僚たちも課長のやり方には多少不満はあるようで、時々、『Bさんが、一番長く勤めているんだから、課長に言ってやってくださいよ。』と言ってきます。何度か課長に『今までは、こういうやり方ですが…』と進言しても、自分のやり方を押し通してきます。納得できるものもありますが、できないことも多くて戸惑っていると、いつまでモタモタしているのとか、きつく言われるし、やり方が強引というか…。振り回されている感じがします。」

（やり方が強引で、振り回されていると感じているのですね。）

「課長は、確かにリーダーシップもあって、仕事もできると思いますが…。タバコを吸う

ので、席を空ける時間が多いんです。それに残業の後、毎日のようにお気に入りの部下を飲み連れて行く、というタイプなんです。私は家族もいますし、仕事は時間内にしっかりやって早く帰宅したいという考えなので、付き合いが悪いと思われていることが態度から伝わってくるんですよ。飲み仲間の人とは仕事でも和やかにおしゃべりしているけれど、短時間勤務の人や私のような者に対しては、明らかに接する態度が違うので、チームワークも悪くなってると思います。

(以前に比べると、職場の雰囲気も違ってきているということですか?)

「ええ、それに課長との目標管理面談の時にも、『あなたはベテランなんだから、もっとできるはずでしょう。』ときつく言われ、給料も以前ほどは上がらなくなりました。最近、私への仕事量が増えていって、連日残業しないと終わらないほどになってきました。本来、弁理士さんの意向を踏まえながら、チームで協力しなければならないのに、それも十分にできず、課長に相談しようと思っても、席に居ない時間が多いので、相談もできないし…。メールで相談しても見ていないのか、殆ど返信がないんです。他の人よりあきらかに作業量が多いと思うし、なんだかきつく当たられている感じです。だんだん、やる気もなくなってきました。」

(作業量も多くなってきて、やる気もなくなっているのですよね。作業量が多いのはどうしてだと思いますか?)

「うーん…お客様も増えているから事務量も増えている…。それに、私が、経験が長い分、やらされることが多いからですかね…」

(やるが多くなった分、どのようにすれば、効率的に仕事がこなせるかの方法を考えてみましょう。)

「効率的にですか…。いまでも精一杯という感じなんで、すぐには考えつかないのですが…」

【所感】

初回面談の際、Bさんには作業を効率的に行うため、業務の整理を行うことを提案した。その後2回ほど面談をしたが、課長に対する不満の話に終始して、業務の効率化について本人が自主的に考えることは無く、こちらから提案をしても実行に移す様子はない。Bさんが仕事へのやる気を取り戻すためにはどのようにしたら良いのだろうか。

- 問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)
- 問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)
- 問3 この事例相談者が相談者を支援するために必要なネットワークや環境への働きかけは何か。また、なぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

事例 3：【選択問題(需給調整機関分野)】

次の文章は、事例相談者（キャリア・コンサルタント：女性 45 歳、相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野は「需給調整機関分野」を○で囲むこと（○がついていない場合、採点されません）。

相談者：C（男性：52 歳）自動車部品メーカーの総務部長

家族：実母（77 歳）、妻（50 歳）、長女（23 歳）、長男（大学 2 年生）と同居

【来談経緯】

C さんは、総務部長として総務、人事、経理、その他社長の特命事項と幅広く業務をこなさなくてはならないが、最近オーナー社長の指示に答えきれていないのでは思うようになった。このまま働き続ける自信を無くし、転職も考え始め、需給調整機関に相談に来た。

【面接経過】（ ）内はキャリア・コンサルタントの発言、「」内は相談者の発言

C さんから、高校卒業後大手の都市銀行に入行し、3 カ所の支店で勤務したこと、50 歳になった時、銀行の取引先の社員数約 100 名の自動車部品メーカーに出向し、1 年前に転籍したことが語られた。転籍後でも、生え抜きの社員に比べると高めの給与をもらえているのはありがたいと思っているが、今までに経験したことのない仕事の連続ですっかり疲れてしまった。最近では社長の指示を十分にこなすことができず、このまま仕事を続けていく自信が無いとのことが述べられた。

（このまま仕事を続けて行く自信が無くなったと言うことですね。）

「はい。銀行に勤めていたと言っても会社経理が分かるわけではなく、まして人事などは全くやったことのない仕事です。小規模会社とは言え、むしろ、小規模だからなのか、総務部長としての仕事は多岐に渡ります。これまでは社長の指示通りに何とかやってきましたが、最近では社長からそろそろ自分で考えて仕事をするようにと細かい指示は出されなくなりました。なるべく自分で考えて、会社のため、社長のためになるように仕事していますが、なんだか疲れてしまい、このままこの会社で仕事を続けるのは無理なのではと悩んでいます。」

（それで転職したほうが良いのではと考えたのですか。）

「そうです。銀行に頼みに行けば、もしかしたら仕事を紹介してもらえるかもしれませんが、やっぱり銀行には頼みづらくて、こちらに相談に来ました。長男はまだ大学 2 年生で教育費がかかりますし、長女は今年から働き出したとはいえ、親として結婚費用くらいは出してやりたいと思っています。私の母と同居しているのですが、最近、持病のリウマチがひどくなって、あまり一人で家にはおいておけなくなっています。妻は近所のスーパーでパートで働いているので、妻の代わりに私が会社を休まなければならないこともあります。そんな状況ではあるのですが、違った環境で働ければと思っています。こんな状況でも転職は可能でしょうか。」

（経験のない分野の仕事で部長職を任せられてお困りなのですね。今後どういう分野の仕事でしたらやって行けるとお考えですか。）

「これと言って得意の分野はありません。銀行でやっていたのは、得意先廻りで預金を取ってきたり、金融商品を買ってもらったりしていました。いわゆる営業の仕事だと思いますが、モノを売るというのとは違うと思いますし。」

(管理職の経験は今の会社が初めてだったのでしょうか。)

「銀行時代は、お得意様を廻るのに肩書が役に立ちますので、名刺の上では課長と言うのがついていたことはありますが、部下が何人もいたわけではありません。支店は小さいですから、支店長と次長位が本当の意味での管理職です。ですから管理職をやったのは、今の会社で初めてといえばそうかもしれません。だから仕事の進め方とか部下の扱い方で苦労しているのですかね…。この年齢になると管理職経験が無いと転職は難しいのでしょうか。」

(そんなことはありませんよ。ただ管理職経験が豊富か否かで、これから選ぶ仕事の方向性が違ってくるとは思います。Cさんに合った仕事を選ぶためにも、次回はこれまでの仕事の棚卸しなどをやって、Cさんがご自身で気がつかれていないような強みとか、特徴、職務適性などを調べてみたいと思います。)

「そうですか。それから、転職にあたっては先ほど申し上げたように経済的なこともあるので、今の給与水準が維持できるといいのですが。」

(そうですね、経済的なことは大事ですね。その他新しい仕事を探すにあたっての条件などあれば是非教えてください。)

キャリア・コンサルタントはCさんが転職を希望しているが、自ら仕事を探して転職した経験が無いこと、今まではそれなりに順調な職業生活を送っていたことなどから、転職にあたっての心構えや、仕事の見つけ方が不十分と感じた。そのため、中高年の方が転職する場合の一般的な注意事項等の情報を提供し、きちんとした方法で取り組めば転職が可能であることを理解してもらい、次回につなげた。

【所感】

キャリア・コンサルタントとして、Cさんが希望に合う仕事に就けるようできる限りのことをしているが、納得のいく仕事が見つからないようで、3 か月ほど経っても、応募しようとする意欲が見られない。今後、どのようにCさんを支援していったら良いだろうか。

- 問 1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10 点)
- 問 2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20 点)
- 問 3 この事例相談者が相談者を支援するために必要なネットワークや環境への働きかけは何か。またなぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20 点)

事例4：【選択問題（教育機関分野）】

次の文章は、事例（キャリア・コンサルタント：男性 35 歳 相談歴 2 年）が事例指導を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙（選択問題）に記述すること。解答用紙（選択問題）の選択した分野は「教育機関分野」を○で囲むこと（○がついていない場合、採点されません）。

相談者：D（男性：21 歳）、4 年制大学機械工学科 4 年生

家族：父（50 歳）、母（50 歳）、妹（大学 1 年生）と同居

【来談経緯】

Dさんは、以前から車が好きで将来は自動車メーカーで設計開発の仕事がしたいと思っていた。就職活動を始めたのは遅かったが、選考 1 社目で内定を得た。自分では良い会社と思っていたが、インターネットの情報や親の意見から、別の企業に就職した方が良いのではと思いはじめた。このまま内定先の企業に就職するか、再度就職活動をした方が良いか相談したいと大学内のキャリアセンターを訪れた。

【面接経過】（ ）内はキャリア・コンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

11 月初旬頃、初めてキャリアセンターに来所したDさんは、少し緊張した様子で「自動車系のエンジニアの募集って今からでもありますか。」と尋ねてきたので、（まだ募集は来ていますよ）と緊張が軽減するように笑顔で返答した。すると「まだ大丈夫なんですね。少し相談に乗っていただいてよろしいですか。」と安心した様子で話し始めた。Dさんは、緊張しながらもハキハキした口調で声も大きく、しっかりした学生という印象であった。

「実は、内定を 1 社取っていますが、技術派遣の会社の正社員で、クライアント先で勤務する形態になります。自分は車が好きで自動車メーカーで設計開発の仕事に携わりたいと思っていました。でも、その会社は自動車メーカーの取引先が多くありますし、未経験でも研修制度があるので、設計開発の仕事にも就けるみたいです。これまで大学での実験や居酒屋のバイトが抜けられず、選考を受けたのは 9 月になってからだったのですが、運良く 1 社目で内定をいただきました。1 社だけの選考で決めて良いか不安もありましたが、人事担当の方からも、自分の事を礼儀正しくて元気があるところが良かったと褒めてもらえまして、会社も立派な建物で、人事の人の雰囲気も良かったので、そこで車の設計開発職としてスキルを磨いていこうと決めて内定を承諾しました。でも親は、派遣は安定していないし、やめた方が良いと反対しています。一般の派遣と違うから安定しているし昇給もある、有給やボーナスもあると説明しても取り合ってくれません。親が心配するので、技術派遣以外の企業も調べましたが、自動車メーカーの設計開発だと、殆どが院卒でないと採用されないみたいです。大学院の進学も考えたんですが、研究は自分に合っていないような気がするし、親に負担を掛けたくないの今のところ進学は考えていません。」

（自動車メーカーの設計開発だと確かに院卒の方が有利ですね。でも技術派遣でも学卒で設計開発に携わることが出来るのならそれはいいんじゃないですか。）

「でも、ネットの情報だと、技術派遣は思い通りの職種に携われなかったり、派遣先が数年で変更になったりする事が多いと書いてあって。それなら一般企業で、車の部品とかエンジンの製造をするような会社の方がいいかなとか…。部品とかエンジンを作るような仕事ならやってもいいと思えたので、再度就活をした方がいいのかなと考えるようになりました。将来、結婚したとして、勤務場所が変わることで子供が転校したり、単身赴任したりする可能性がある技術派遣より、安定して同じ場所でずっと働ける企業に就職し方がいいかなとも思っているんです。」

(そうですか。では車の部品メーカーなども視野に入れているということですね。募集は今でも来ていますよ。Dさんが興味があれば求人はまだあるので大丈夫です。)とDさんの不安が軽減するよう、今年の就職状況を説明した。

しかしDさんは、「内定先の人事の方から『一般のメーカーだとエンジニアとしてずっと勤務出来る保障はなく、営業等に異動の可能性もある』と聞いたので、迷いもあるんです。」と、なかなか決心がつかないようだった。

相談時期も遅かったため(そんなことを考えたら、どこも一般企業は就職出来ないと思いますよ。取りあえず就活するなら時期のピークは過ぎているので早い方が良いです。)と助言した。さらに(今センターに募集要項が何社か来ているので、気に入った企業を2、3社ピックアップして、エントリーシートを書いて一度見せて下さい。その後ロールプレイ等を行って面接対策をしていきましょう。)と今後の具体的な行動を提示し、次回の面接予約を設定して初回面接を終結した。しかし、次回の面接日時になってもDさんは来所せず、それ以降1か月ほど経った今でも、Dさんからの連絡が無い。

【所感】

希望の職種も決まっておき、しっかりした印象であったが、やはり内定が決まっていると就職活動のモチベーションが持続せず、別の会社を探すのはあきらめたのかと気になっている。仮に営業職となってもDさんなら十分やっていると判断し、何よりもDさんの希望に添うように面接したつもりだった。時期的に考えても早く具体的な行動に移した方が良いと思い、最後は少し指示的となってしまったことは反省している。

- 問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)
- 問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)
- 問3 この事例相談者が相談者を支援するために必要なネットワークや環境への働きかけは何か。またなぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

